

「東海発電所 防災訓練実施結果報告書」の要旨

1. 報告内容

東海発電所 防災訓練実施結果

2. 報告年月日

2021年4月16日

3. 防災訓練実施結果の主な内容

東海発電所原子力事業者防災業務計画に基づく訓練

防災訓練実施年月日	2020年12月25日
想定した 原子力災害の概要	廃止措置中の東海発電所において、地震（東海村震度6弱）が発生し、管理区域外でL1輸送容器運搬車が横転し、走行燃料に引火したことにより火災が発生、また、火災等の影響を受け、L1輸送容器の遮へい物が損傷したことにより管理区域外で放射線が検出され、原子力災害対策特別措置法第15条に該当する事象に至る原子力災害の発生を想定し、かつ東海第二発電所との同時発災とする。
参加人数	合計268名 （社員244名、関係会社・協力会社員24名）
防災訓練の内容	以下の項目を「シナリオ非提示」にて実施。 【東海発電所における訓練】 （1）要員参集訓練 （2）通報連絡訓練 （3）緊急時環境モニタリング訓練 （4）発電所退避者誘導訓練 （5）特定事象等対策訓練 （6）オフサイトセンター訓練 【本店における訓練】 （1）発電所災害対策活動支援対応訓練 （2）即応センター班運営訓練 （3）原子力事業所災害対策支援拠点の選定訓練 （4）原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練 （5）広報対応訓練 （6）オフサイトセンターへの派遣訓練
防災訓練結果の概要	訓練結果の概要は以下のとおり。 【東海発電所における訓練】 防災訓練の内容の（1）～（6）について、適切に実施された。 【本店における訓練】 防災訓練の内容の（1）～（6）について、適切に実施された。

4. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

（1）訓練において確認された改善を要する事項

今回の訓練において、課題は抽出されなかったが、中期計画に基づく防災能力向上に向けた取り組みを継続的に進め、要素訓練にて有効性を検証し、更なる改善を行っていく。